

発行 日本共産党南知多支部



連絡先
〒470-3321 南知多町
内海内塩田77-3
(南知多町議会議員)
内田 保
電話 0569-62-1816
携帯 090-2776-7529

内田たもつだより

内田たもつ ホームページ
http://uchida-tamotsu.jimdo.com



日本共産党発行
しんしん 赤旗
日刊 3497円
日曜版 930円

海つ子バス 統一運賃400円 小中学生無料

6月23日南知多町地域公共交通活性化・再生協議会が開かれました。10月からの師崎線の廃止に伴う海つ子バスのルート変更とダイヤ改正が話題となりました。また、小中高生の利便性を良くするために、無料券の発行が話題となりました。特に、内海高校生の定期券は、基本料金の改定があったものの、内海高校の要望を取り入れ、南知多町外の高校生は現状維持で、町内の高校生は無料提案となっています。10月からの運賃・交通ルート改正に向けて、7月24日(役場)・25日(篠島)・27日(日間賀島)に住民説明会が開かれます。住民の納得の得られるものであるか、説明会に参加し、注視していきましょう。

特別交付税の8千万円の繰入がない決算

今回 現行町内1600円、町外3000円の料金設定を、統一して400円にするものです。海つ子バス運営では、委託料の赤字分である運賃収入だけでは賄いきれないお金を町は負担しています。それが、約1億円の赤字です。しかし、昨年の議会での内田議員の質問で、特別交付税があることが明確にされ、当局もそれを認め、その内容を踏まえた資料でタウンミーティング等で議論されてきました。

しかし「再生協議会」の決算資料では、特別交付税で補填された1億円の約8割の8千万円の繰入がない決算となっています。担当課長は「一般会計だけの決算なので特別交付税は入っていない」とのことでした。



内海駅



花ひろば

昨年実施したバス料金をめぐる町民アンケートでは、これまで通りの料金を維持してほしいが約41%であり、値上げ賛成は、約10%となっています。しかし、今回約1億円の赤字(実際の町負担は、年約2千万円)を理由に、今後の運行維持の改善策として様々な新たなサービスをにつけて、400円に統一するというのがこの法定協議会で決定された内容です。

400円に値上げし 赤字は約8千万円

400円に値上げしても、約2千万円から3千万円の赤字改善との試算です。今後のバスの安定した運行維持のためには、赤字分の解消が必要と当局は説明しています。実質約2千万円の赤字分解消は、一般会計からの繰入れを増やすか、バス利用者への負担を増やすかの選択です。公共交通であるなら、一般会計負担で現状維持の道もありました。

しかし、再生協議会の結論は、現行の1600円・3000円を400円に統一する料金とし、その負担は利用者求めたことになりました。400円にしても町の赤字は約8千万円から約7千万円ぐらいは出るようになりますが、赤字の8割は、国民の足を保障するための制度としての国からの特別交付税で補填されます。

南知多町の小・中学生無料 高校・大学・専門学生は 通学定期全額無料

事務局は、他に様々なサービスを提案しています。小中学生は無料、そのためにはICカードに中学校までの有効期間を明示し、中学校卒業まで海つ子バスは無料となります。今年度、南知多中学校が開校し、様々な地域の子どもたちが交流する目的もあります。また、定期6ヶ月ごとの無料サービスについては、南知多町に在住する高校生・大学生・専門学校生で、学生である証明書類が発行できる学校であれば、インターネットにより申請し、6ヶ月の有効期間

マイナとはマイナカード役立たず
一人一人の国民にとって個人情報とはとても大切なもの。マイナカードに保険証を紐付けて、他人の医療情報が開示されてしまうなどあってはならない。紙の保険証廃止を廃止に!

定期券は6ヶ月を基本とし、発行時期の10月と6月は、事前に発売することで、利用者の利便性を図ることです。販売所は、役場・観光協会・美浜町レスクル(河和台)・半田駅でも販売することでした。

座長交代 出原浩氏(NPO)から 樋口恵二氏(大同大)へ
15年かかわってきた出原氏は最後に「公共交通の解は、一つではないものとして工夫して欲しい」と助言をされました。また、新しい座長樋口氏は「町民の足としても、観光客の足としても、自然豊かな観光面からの試みをしていくことも考えている。公共交通専門だけでなく、高齢者ドライバーのことやシェアカーのシェアリングや、バス停まで歩けない方へのバス停と自宅をどのように繋ぐのかという視点も必要ではないか」と意欲を示されました。